ACCESS

JR立川駅北口より

- 徒歩約15分
- タクシー約5分
- 立川バス1番、2番乗り場より約10分

〒190-0014 東京都立川市緑町3256

Tel.042-526-5511

住環境バツグン!

立川駅周辺はデパートや家電量販店などの大型商業施設が充実していて、お買い物にとっても便利! 大きな公園があって緑が多く、自然にふれあう生活ができます。花火やお祭りなどの地元のイベントも人気で、暮らしやすさはバツグンです。

https://nho-tdmc-kangobu.hp-recruit.jp

独立行政法人
国立病院機構
災害医療センター

Change & Challenge

NATIONAL DISASTER MEDICAL CENTER

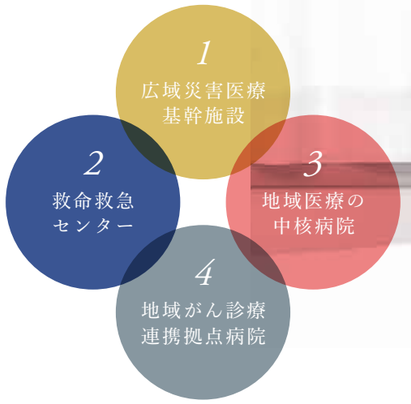
独立行政法人
国立病院機構
災害医療センター

看護師募集案内

Change & Challenge

わたしたちは基幹災害医療拠点病院として、
わが国の災害医療の中心的役割を担っています。
また、災害医療だけでなく、救急医療・高度総合医療・がん診療において、
地域の皆さまに安心していただける質の高い看護を提供しています。
刻一刻と変化する医療現場に対応し、
自分自身に挑戦し続ける自律した看護師の育成を目指しています。

病院の特徴



1 広域災害医療基幹施設

国内の災害時におけるDMAT、初期医療班の派遣、重篤・重症患者の収容並びに患者の広域搬送、中等症患者の収容並びに外来患者の診療を行う。外国の災害時にも医療従事者を派遣し、国際医療協力を行う。災害医療を中心とした臨床研究、医療従事者や海外研修生に対する災害医療・救急医療を中心とする教育・研修を行う。

2 救命救急センター

広域災害時には多発外傷・熱傷・中毒・クラッシュ症候群などが多発 するため、平時より多発外傷に重点を置き、急性期の患者について高度な救急医療を行う。

3 地域医療の中核病院

広域災害時には、多種多様な急性・慢性疾患を持った患者を受け入れる必要が生じることから、各疾患について平時から高度の医療レベルを維持するとともに、地域の中核病院としての役割を果たす。

4 地域がん診療連携拠点病院

がん診療連携拠点病院の指定を受け、専門的ながん医療の提供、地域がん診療の連携協力体制の構築、がん患者に対する相談支援及び情報提供などを行う。

病院概要

- **●沿革** 平成7年7月1日国立王子病院と国立立川病院を統合し、現在地に国立病院東京災害医療センターとして発足。平成16年4月1日独立行政法人国立病院機構災害医療センターと名称変更。
- **●病床数** 一般病床455床
- **●看護職員数** 524名（令和4年6月現在）
- **●患者数** 〈外来〉680人／日　〈入院〉315人／日
- **●診療科名** （標榜診療科）32科
  血液内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、リウマチ科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、腫瘍内科、小児科、精神科、消化器・乳腺外科、救急科、整形外科、形成外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線診断科、放射線治療科、歯科口腔外科、麻酔科、病理診断科、緩和ケア内科、ペインクリニック外科
- **●救急指定** 三次救急

看護部の理念

“わたしたちはやさしさをモットーに安心と満足をしていただける最良の看護を目指します。”

看護の三本柱　災害看護　クリティカル看護　がん看護

看護方針

1) その人らしさを尊重した看護ケアを提供します。
2) チーム医療に看護の専門性を発揮します。
3) 地域との連携をはかり継続看護を推進します。
4) 災害看護の専門性を発揮し災害医療に貢献します。

看護体制

- ●看護単位　13単位
- ●一般病棟看護師配置　7対1施設基準
- ●看護方式　固定チームナーシング 他

勤務体制

日勤 …… **8:30〜17:15**
夜勤 …… **16:15 〜 9:30**
12時間夜勤 …… **20:15〜9:30**
長日勤 …… **8:30〜21:30**

※看護単位によって採用している勤務時間が異なります。

休日・休暇

週休 …… 4週8休制
年次休暇 …… 1年につき20日間
その他 …… リフレッシュ休暇・結婚休暇・子の看護休暇・産前産後休暇など

看護部長からのメッセージ

災害医療センターは高度急性期病院であり、災害医療、がん診療、地域医療連携の拠点病院です。災害時に力を発揮するには、看護の基礎的能力を確立し、高度な専門性を身につけることが必要です。当院では日々の業務の中で知識・基礎的看護能力・観察力・臨床判断能力を養うことができます。同じ状況を目にしても、能力がなければ見過ごしてしまうこともあります。専門的知識と観察力は、感じ取る情報の量と質を高め、瞬時の判断を可能にします。平時より災害看護への備えができる当院で一緒に働きましょう。

教育体制

看護師としてのキャリアを
スタートさせる大切な1年目、しっかりとした
基礎看護能力が身につけられます。
2年目以降も、自身の成長と目標に合わせて
着実にステップアップできます。

1年目の教育スケジュール

4月

新採用時オリエンテーション

○病院の概要と機能、服務規程、就業規則、コンプライアンス、看護部の概要と 機能、感染管理対策、医療安全管理、防災の基本、各部門の紹介、院内見学、接遇など

感染防止対策

○スタンダードプリコーション:手洗い、手袋・マスク・ビニールエプロンの着脱方法、医療廃棄物の分別、吐物の処理
○経路別予防策

5月

フィジカルアセスメント❶

○フィジカルアセスメントの基礎知識について
○バイタルサイン測定の演習
○基準値をもとに得られた数値のアセスメント
○基準値から逸脱した場合の問診や
フィジカルアセスメント

看護技術
ME機器の取り扱い

○採血、吸引、輸液ルート接続・滴下調整、車椅子・ストレッチャーの移乗移送
○輸液ポンプ・シリンジポンプの取り扱い

6月

リフレッシュ研修

○看護師に必要なコミュニケーションの基本について
○報告・連絡・相談の必要性 について
○入職2か月目の振り返り
○自己の健康管理について
○自己の今後の課題について

静脈注射❶

○静脈注射の特徴
○注意すべき薬剤とその管理・取り扱い
○静脈注射実施に伴う看護師の責任と役割

9月

医療安全❶

○新採用者オリエンテーション「医療安全対策」の基礎知識の確認
○KYTシミュレーション

10月

看護倫理❶

○看護倫理とは
○看護者の倫理綱領について
○患者の権利について
○看護倫理問題について考える

11月

急変時対応❶初級編

○急変時(心停止)対応に必要な基礎知識(BLS・心電図波形・治療など)
○急変対応のシミュレーション
○気道確保・BVM・胸骨圧迫・緊急コール・記録など

1月

リフレクション(自己の振り返り)

○実践した看護の振り返り
○次年度に向けての展望

2月

末梢静脈路確保

○持続点滴留置針(サーフロー針)の挿入と固定記録など

看護職員能力開発プログラム「ACTyナース」

国立病院機構の卒後教育は、全国140施設で統一された、看護職員能力開発プログラム「ACTyナース」を導入しています。「理論と技術を持って、創造し、積極的に行動する看護」を実践する看護師の育成を目指し、新人から卒後概ね5年目までに看護実践能力を段階的に習得できるよう計画され、それぞれの目標に向かって日々学んでいくための指針です。

ポートフォリオとe-ラーニングの活用

当院では、新採用者が日々の看護実践の内容を意識し、計画的に学習を進められるようにポートフォリオを活用しています。できるようになったことやこれからの課題を先輩看護師と一緒に確認しながら学習することができます。また、知識や技術の定着を促すツールとしてe-ラーニングシステムを導入しています。手順などをくり返し確認することで、根拠ある看護実践につなげることができます。

キャリアラダー

	看護実践の必要な基礎能力を習得する レベルⅠ 1～2年目	1.根拠に基づいた看護を実践する 2.後輩とともに学習する レベルⅡ 2～3年目	1.個別性を重視した看護を実践する 2.看護実践者として、後輩に指導的役割を果たせる レベルⅢ 4年目以上	1.後輩の学習を支援する 2.チームリーダーとしての役割を果たせる レベルⅣ 4年目以上	専門性の発揮、管理・教育的役割モデルとなり研究への取り組みができる レベルⅤ 6年目以降 ●専門性の高い看護職(CNS、CN、JNP) ●看護管理者 ●看護教育者 ●ジェネラリスト
		専門看護	専門看護	専門看護	医療安全・感染看護
		災害看護①	災害看護②	災害看護③	災害看護④
看護技術・フィジカルアセスメント	●	●	●		
医療安全・感染看護	●	●	●	●	
急変時対応	●	●	●	●	
看護倫理	●	●	●	●	
チーム医療	●	●	●		
看護管理				●	●

＼2年目の先輩ナース／

急変時の対応について年2回病棟で研修があり、看護実践に役立っています。所属病棟には呼吸器疾患の患者さんが多いため、人工呼吸器や酸素療法の勉強会にも参加しています。今年から摂食嚥下サポートチーム係になったので、院外研修にも積極的に参加し、嚥下訓練や口腔ケアについて学びを深めていきたいです。

＼3年目の先輩ナース／

院内研修は技術だけでなく看護倫理研修もあり、看護師としての基本や大切なことについて学ぶことができます。院内のキャリアラダーを通して段階的に能力を習得しながら自身の看護について考え、向き合い、看護観を深めています。「その人らしさを支える看護」を提供できるように、信頼される看護師を目指していきます。

＼7年目の先輩ナース／

救命救急病棟に所属しており、1年目から重症疾患や医療機器に関する多くの研修・勉強会に参加してきました。ME機器の管理、心電図、ストマ管理など院外研修も活用して看護実践力を高めています。今後は、認定看護師の資格取得や看護管理者など、自身の看護観とライフプランに合わせてキャリアアップしていきたいです。

スペシャリスト

感染管理認定看護師

副看護師長と感染制御チーム(ICT)を兼任し、週1回、ICTによる感染対策ラウンドに参加しています。また、病棟スタッフや新入職者に対する講義・演習・勉強会で知識提供を行っています。当院で働くすべての人が、安全に業務ができることを目指しています。

診療看護師(JNP)

急変時やDMATで派遣された際、タイムリーな対応が必要になることを実感して資格を取得。現在は二次救急の初期対応、三次救急対応などを行っています。国内外の災害派遣では外傷処置、救急外来の対応、マネジメントなどにJNPの経験を活かすことができました。

現在活躍中のスペシャリスト

災害看護専門看護師	1名
救急看護認定看護師	5名
集中ケア認定看護師	1名
がん化学療法看護認定看護師	2名
緩和ケア認定看護師	1名
乳がん看護認定看護師	1名
がん放射線療法看護認定看護師	1名
皮膚・排泄ケア認定看護師	2名
感染管理認定看護師	4名
透析看護認定看護師	1名
認知症看護認定看護師	2名
摂食・嚥下障害看護認定看護師	1名
脳卒中リハビリテーション看護認定看護師	1名
手術看護認定看護師	1名
診療看護師(JNP)	8名

病棟紹介

13の看護単位に、約500名の看護師が
それぞれの看護技術・知識を発揮して、
やりがいを持って勤務しています。
各部署の先輩たちが温かく迎えてくれるので、
安心して飛び込んできてください!

救命救急病棟 救命救急科

救急搬送で様々な疾患の重症患者さんが入院しており医師とともに高度な医療、精神的なフォローなど多岐に渡る看護を提供しています。患者さんの生命に直結する病棟であり厳しい中にもやりがいを感じ、楽しく働いています。

5階東病棟 血液内科 腎臓内科 膠原病・リウマチ内科 糖尿病・内分泌内科 循環器内科

内科系混合病棟で、急性期から緩和医療に至るまで幅広い患者さんや家族に関わることができます。病棟の雰囲気も明るく、コミュニケーションも密に取り、お互いに声をかけ合い、協力しながらいきいきと働いています。

5階西病棟/HCU 循環器内科 心臓血管外科

心不全、心臓血管外科の術後患者さんが多く、循環や呼吸が不安定な急性期の看護や、退院に向けてセルフモニタリングのための指導・教育を実践しています。学習意欲が高い病棟であり、スタッフ全員で協力し合っています。

6階東病棟 泌尿器科 腎臓内科 救命救急科 小児科 耳鼻科 口腔外科

急性期から終末期まで様々な病期の患者さんが入院されます。そのため様々な知識や技術が必要で看護は多岐に渡りますが、チームナーシングの看護体制でスタッフ皆がお互いを尊重し、より良い看護を提供するために日々邁進しています。

6階西病棟 消化器内科

胃や肝臓、大腸などの消化器疾患の検査、治療目的で入院している患者さんに寄り添う看護を心がけています。笑顔の素敵なスタッフが多く、皆とても明るく、なんでも相談し合い、助け合える働きやすい病棟です。

7階東病棟 消化器乳腺外科 消化器内科 婦人科

急性期、周手術期、悪性疾患の看護を中心に、ストマ造設や乳房切除といったボディイメージの変化に対する身体的・精神的援助も行っています。患者さんに寄り添い、明るく活気にあふれている病棟です。

7階西病棟/SCU 脳神経外科 脳神経内科

脳血管障害や頭部外傷の患者さんが多く、人工呼吸器を装着している急性期から回復期までの看護を実践し、幅広く経験を積むことができます。スタッフは年代を問わずコミュニケーションを取り笑顔が絶えない病棟です。

8階東病棟 整形外科 形成外科 皮膚科

手術を受ける患者さんが多い病棟です。整形外科は、手術後の早期から患者さんと一緒に目標を決めてリハビリを行っています。スタッフは新人からベテランまで幅広いですが、皆で助け合いながら看護しています。

8階西病棟 呼吸器内科 呼吸器外科 糖尿病内科

肺がん・肺炎・COPD・気管支喘息などの呼吸器疾患や糖尿病の患者さんが多く入院されています。急性期から慢性期までの幅広い看護を実践しています。患者さん一人ひとりが「自分の大切な人」という思いで、心を込めた看護を実践しています。

9階東病棟 泌尿器科 眼科 救命救急科

手術や化学療法、救命科で状態が安定した患者さんが多く、二次救急外来も対応しており救急看護の知識や技術を学べます。患者さんとのコミュニケーション、寄り添う姿勢、その人らしく社会復帰できるような支援を大切にしています。

9階 ICU

主に術後や急変などで集中治療が必要な重症患者さんを受け入れています。緊張感のある場面も多いですが、患者さんやご家族が安心して過ごせるよう、スタッフ一丸となって看護を提供しています。

手術室

多発外傷や心臓血管外科、脳神経外科などの緊急手術に対応できる体制を整えています。「患者さんのために」をスローガンとし、患者さんが安心して手術を受けられるようチームで連携を図り、良質で安全な医療提供を目指しています。

外来

外来は29の診療科があり、1日約700人の患者さんが来院しています。外来と病棟が連携し継続した看護の提供ができるよう、スタッフ一同協力して頑張っています。ママさんナースも多く、皆いきいきと働いています。

福利厚生

職員宿舎

病院敷地内に看護職員専用宿舎があります。間取りは1R（居室6畳程度）でフローリングのお部屋です。ミニキッチン、ユニットバス、クローゼット完備。家賃は管理費別で6,000円と格安です!

院内保育所

病院敷地内に「なかよし保育園」があります。
●**保育日：**月～土
●**保育時間：**月～金／7:30～18:00、土／8:00～18:00
（延長保育 月～金／18:00～8:00）
●**保育料（月額）：**
0歳・1歳児／第一子 40,000円 第二子以降 30,000円
2歳児／第一子 30,000円 第二子以降 20,000円
3歳以上／第一子 20,000円 第二子以降 15,000円
※給食費・ミルク代・おやつ代は上記金額に含まれます。

育児短時間勤務などの制度

育児のため、小学校就学の始期に達するまでの期間、「短時間勤務」として週19時間25分～24時間35分の範囲で勤務日・勤務時間を選択する制度や、1日につき2時間以内の「育児時間」を取得できる制度があります。給与・賞与は勤務した時間に応じて支給されます。